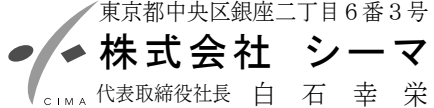


株 主 各 位



第18期定時株主総会招集のご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第18期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、平成24年6月27日（水）営業時間終了の時（午後7時）までに議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

- ① [郵送による議決権行使の場合] 同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否を表示され、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。
- ② [インターネットによる議決権行使の場合] 後記の「インターネットでの議決権行使について」をご高覧のうえ、<http://www.it-soukai.com>または<https://daiko.mizuho-tb.co.jp/>にアクセスし、同封の議決権行使書用紙記載の議決権行使コードおよびパスワードをご利用のうえ、画面の案内に従い議決権を行使してください。

なお、議決権行使書面とインターネットによる方法と重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使を有効なものとしたします。

敬 具

記

1. 日 時 平成24年6月28日（木）午前10時
2. 場 所 東京都千代田区有楽町一丁目11番1号
読売会館 7階「よみうりホール」
3. 会議の目的事項
報 告 事 項
 1. 第18期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第18期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

決議事項

会社提案

- 第1号議案 定款一部変更の件
- 第2号議案 取締役1名選任の件

株主提案

- 第3号議案 剰余金処分の件
 - 第4号議案 取締役解任の件
 - 第5号議案 定款一部変更の件
- 株主提案（第3号議案、第4号議案および第5号議案）の議案の要領は、後記「株主総会参考書類」に記載のとおりであります。
なお、会社提案議案の第1号議案と株主提案議案の第5号議案は別議案であり、対案ではありません。

4. その他本招集ご通知に関する事項

本招集ご通知に際して提供すべき書類のうち「連結計算書類の連結注記表」および「計算書類の個別注記表」につきましては、法令および定款第14条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト (<http://www.cima-ir.jp/koukoku>) に掲載しておりますので、本招集ご通知の添付書類には、記載しておりません。

以 上

-
- ◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の**議決権行使書用紙を会場受付にご提出**くださいようお願い申し上げます。
 - ◎株主総会参考書類、事業報告、計算書類および連結計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト (<http://www.cima-ir.jp/>) に掲載させていただきます。

(添付書類)

事業報告

(平成23年4月1日から
平成24年3月31日まで)

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

(事業の状況)

当連結会計年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの立て直しや政府による各種政策効果などを背景に、景気は緩やかな回復基調となりましたが、長期化する円高やタイの洪水および中国経済成長の鈍化などの影響を受け、企業収益の減少が見られるなど、依然として厳しい状況が続きました。

景気の先行きについては、欧州の政府債務危機の影響や原油価格の上昇による海外景気の下振れ懸念の影響など、景気を下押しするリスクが存在しており、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済状況のもと、ブライダルジュエリー市場では、景気悪化による個人消費の低迷に加え、企業間競争が一層激化するなど、厳しい経営環境下での営業となり、当社および当社の関係会社（以下「当社グループ」という）の業績に大きく影響する結果となりました。

当連結会計年度において、当社グループの主力であるブライダルジュエリー事業（銀座ダイヤモンドシライシ、エクセルコダイヤモンド、ホワイトベルの3ブランド等）は、競争の激しいブライダルジュエリー業界における強固な地位を確立すべく、組織の強化、ブランドの強化を中心に取り組みました。

組織の強化策としては、従来の企業理念を一新し、「愛を、永遠にする。」を通じて、すべてにおける当社の新たな行動規範の指針を策定しました。当社は、お客様の満足を通じて、社会に貢献する企業を目指すことを全役職員で共有しました。

また、当社グループの主力であるブライダルジュエリー事業のブランドの一つである「ホワイトベル」を、平成24年4月1日付で「銀座ダイヤモンドシライシ」に統合しました。これにより、フルオーダー専門店としてのノウハウを「銀座ダイヤモンドシライシ」に集約し、充実したサービスを提供できる体制を整えました。

ブランドの強化策としては、新たな企業理念にもとづくお客様満足度向上のための極め細やかなサービスを導入しています。また、ブランド認知度をさらに向上させるため、クリエイティブ部門のデザイナーを増員し、商品開発力やデザイン力の強化に取り組みました。

第4四半期連結会計期間においても、当社は、通期連結業績予想を達成すべく、営業活動に全力で取り組みましたが、誌面広告からの集客数の低迷や購入単価の下落傾向などが影響し、売上は伸び悩みました。

利益面においては、経費削減を継続したことにより、一定の効果は得られたものの、売上高の低迷により、利益を捻出することができませんでした。

結果として、当連結会計年度の業績は、売上高100億21百万円（前年同期比9.9%減）、営業損失3億26百万円（前年同期は、営業利益4億91百万円）、経常損失3億35百万円（前年同期は、経常利益4億87百万円）、当期純損失3億75百万円（前年同期は、当期純利益1億83百万円）となりました。

今後においても厳しい経済状況が予想されますが、集客の改善、積極的な営業施策の推進などにより、業績の改善をはかるとともに、引き続き全社的な経費削減を徹底していき、利益の増加をはかります。

なお、当連結会計年度におけるプライダルフジュエリー事業の主な施策などは、以下のとおりです。

1) 新店舗開設（増床、移転、新装を含む）

平成23年4月29日「エクセルコ ダイヤモンド 青山店」増床

平成23年5月28日「銀座ダイヤモンドシライシ 姫路店」開設

平成23年6月25日「銀座ダイヤモンドシライシ 神戸三宮店」開設

平成23年7月29日「エクセルコ ダイヤモンド 神戸店」移転・新装

平成23年12月1日「銀座ダイヤモンドシライシ アルコスクエア目黒店」開設

平成24年2月11日「エクセルコ ダイヤモンド 天王寺店」開設

平成24年2月25日「銀座ダイヤモンドシライシ 柏店」開設

2) 商品力強化

以下の新商品を発表しました。

（銀座ダイヤモンドシライシ）

- ・新作オリジナルセットリング“ino（イーノ）”を6月23日に発表。
- ・新作オリジナルセットリング“Angel Ladder（エンジェルラダー）”を7月23日に発表。

- ・新作セットリング“AIGLE（アイグレイ）”エンゲージリングを10月8日に発表。マリッジリングを11月26日に発表。
- ・新作セミオーダーネックレス（セントグレアタイプ、ドロップスタタイプ）を11月26日に発表。
- ・2011X'mas新作ファッションジュエリーBio3型を11月に発表。
- ・新作セットリング“A piece of love（ピースオブラブ）”を3月31日に発表。

（エクセルコ ダイヤモンド）

- ・オリジナルエンゲージリング“Nouvelle Mariee（ヌーヴェルマリエ）”にセットマリッジリングを7月9日に追加、発表しました。
- ・オリジナルマリッジシリーズ“Dispersion（ディスパーション）”を8月6日に発表。
- ・新作オリジナルセットリング“CORONET（コロネット）”に新たにマリッジリングを8月13日に追加、発表しました。
- ・新作オリジナルセットリング“Ceremony（セレモニー）”を9月17日に発表。
- ・新作セットリング“Bonheur（ボヌール）”を2月25日に発表。

（ホワイトベル）

- ・新作オリジナルセットリング“Kanon（カノン）”を5月21日に発表。
- ・オリジナルマリッジシリーズ“couture（クチュール）”を8月20日に発表。
- ・新作マリッジシリーズ“Mille-feuille（ミルフィーユ）”を10月29日に発表。
- ・新作セットリング“aisle（アイル）”を11月26日に発表。

3) 提携先ホテル・式場数の増大と提携関係の更なる強化

4) 集客力強化

誌面広告による媒体効果低下の対策の一環として、広告内容の改善だけでなく、各地域の状況を踏まえ、集客効果が見込めるテレビCMなどの他媒体の有効活用や、新たな情報配信媒体として、スマートフォンに対応したブランドサイトの開設やSNSの活用など、ブランド認知度をさらに向上させるための施策に取り組み、新たな集客チャネルの開拓を推進しました。

当社グループの販売・サービス別の売上は、以下のとおりです。

販売・サービス別売上高(連結)

(単位：千円)

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)		
		売上高	前年同期比	構成比
ブライダル事業	ブライダル関連販売・サービス	9,574,259	89.7%	95.5%
	ファッション関連販売・サービス	445,556	100.9%	4.5%
	その他(注)2	1,914	32.8%	0.0%
合 計		10,021,729	90.1%	100.0%

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。
 2. ブライダル事業の「その他」は、催事・本社関連などの売上となっています。
 3. 当社グループが提供するサービスの拡充に対応するため、当連結会計年度より「セグメントの名称」、「販売・サービスの名称など」を変更しています。
 「ブライダル関連販売・サービス」は、ブライダルジュエリー販売、ギフト販売、ウエディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービスおよび連結子会社の売上となっています。
 「ファッション関連販売・サービス」は、ファッションジュエリー販売の売上となっています。
 なお、前年同期比については、前連結会計年度の実績を、新たな販売・サービスの区分で計算しています。

(2) 今後の経営方針ならびに対処すべき課題

(次期の見通し)

ブライダルジュエリー市場は、厳しい企業間競争により寡占化が今後とも進行していくことが予想されます。

当社グループは、新たな企業理念のもと、ダイヤモンドに特化した独自のビジネスモデルの優位性に加え、常にお客様の視点に立った以下のような取組みを全社的に推進し、企業価値をさらに高めていく所存です。

1) 企業体質の強化

当社の目指す成長ビジョンを実現するため、「愛を、永遠にする。」という新しい理念のもと、あらゆる最高をお客様に提供すべく、それらを追求していくことを、全役職員が取り組んでいます。

これにより、すべての部門が、よりレベルの高いプロフェッショナル集団として「あらゆる最高をお客様に提供していきたい」という社内風土となっています。

2) 人材採用・教育の強化

当社は、個々の人材能力を活かすため、採用・教育に力をいれています。

採用においては、より有能な人材を獲得するための選考方法を実践しています。

教育においては、教育カリキュラムを見直し、入社2、3年目の若手社員の研修を充実させています。自主性を尊重し、より効果的な業務の実践を重視した研修プログラムだけでなく、マネジメントできる人材を育てていきます。お客様には、社員教育の充実による質の高いサービスを提供し、顧客満足度の向上をさらに目指します。

3) 集客チャネルの増強

有カブライダル専門誌以外の集客チャネルの1つとして、インターネットを活用した集客モデルを構築していきます。

当社は、業界に先駆け実施したウェブサイトでのご来店予約サービスや、平成21年4月に、当社会員向けサービスである「ウエディングライフサポート」のウェブサイトをスタートするなど、ウェブプロモーションを強化することにより、お客様を魅了するサービスで更なる集客増をはかります。

また、効果の見込める媒体を活用して、集客力を強化するとともに、新規集客チャネルの開拓をしていきます。

4) 商品力の強化

お客様の視点に立ったサービスを提供していく上で、より革新的な商品を機動的に開発していきます。

その他、海外展開、新規事業開拓およびM&Aも含めた、新たな収益基盤の構築も積極的に検討していきます。

以上により、当社グループの平成25年3月期の連結業績予想は、売上高109億21百万円（当期比9.0%増）、営業利益3億65百万円（当期は営業損失3億26百万円）、経常利益3億43百万円（当期は経常損失3億35百万円）、当期純利益2億23百万円（当期は当期純損失3億75百万円）を見込んでいます。

(目標とする経営指標)

当社は、株主利益および企業価値の最大化という観点から事業規模の拡大と収益力の向上に取り組んでいます。収益力の指標としては売上高営業利益率を重視しており、売上原価率を低く抑えながら売上増をはかり、売上高営業利益率20%の早期実現を目指します。また、株主重視の観点から1株当たり当期純利益（EPS）と自己資本当期純利益率（ROE）の向上を意識した経営を行っていきます。

(中長期的な会社の経営戦略)

当社は以下の戦略により、持続的成長による株主利益および企業価値の最大化を目指します。

- ① 当社は、婚約指輪・結婚指輪などのブライダル事業に集中・特化する経営によって成長を果たしてきました。今後も新規出店や新商品の開発による当社ブランド（銀座ダイヤモンドシライシ、エクセルコダイヤモンド）のさらなる浸透と価値の向上をはかるとともに、高品質かつ豊富な商品の品揃えやきめ細やかな接客サービスによって、ブライダルジュエリー市場でのシェア拡大を目指します。

新規出店については、大都市圏への新規出店を進めていく方針であり、優良物件情報の収集を行い、独自の出店基準により、高い収益を見込める店舗展開を行っていきたいと考えています。

- ② 当社の主要取扱商品のブライダルジュエリーは、ご結婚を決められたお客様の消費行動の中で、ブライダル市場全体の川上に位置し、結婚式場やウエディングドレス、引出物、新婚旅行などは川下にあたります。当社はブライダル事業のお客様に対し、川下の商品・サービスを合わせて提案することにより、顧客ベネフィット（お客様のライフスタイルにあったウエディングスタイルの提案やワンストップ・ショッピングによる時間短縮など）のサービス向上に取り組みます。このため、ブライダル市場の川下への事業展開による多角化を進めていきます。

今後は、ウエディングドレスや新婚旅行などのブライダル事業においてもM&Aを含めた成長戦略を視野に、結婚後のライフ・サポートへとつながるサービス基盤を構築していきます。

(会社の対処すべき課題)

- ① 当社は、適時開示体制および内部管理体制の強化を最重要課題の一つとして位置付けており、より強固な企業統治の構築を目指します。
- ② ブライダル事業における国内シェアの拡大にとまない、管理職の人材育成を重要課題の一つと認識しています。このため、経験や能力に応じた教育研修の実施など、人材育成に注力しています。
- ③ 中長期的な戦略として掲げているブライダル市場の川下への事業展開においては、中核のブライダル事業との相乗効果の実効性を上げるために、業界内の情報収集、綿密な事業計画の策定や人的交流を行う必要性を認識しています。M&Aという手段も視野に入れながら可能な限り早期の事業展開を目指します。
- ④ インターネットを活用した集客・販売活動にも力を入れ、業績向上とブランド強化に努めていきます。

(3) 設備投資等の状況

当連結会計年度中に実施いたしました設備投資は、総額3億23百万円で、その主なものは以下のとおりであります。

店舗新設	銀座ダイヤモンドシライシ	姫路店	(兵庫県姫路市)
	銀座ダイヤモンドシライシ	神戸三宮店	(兵庫県神戸市)
	銀座ダイヤモンドシライシ	アルコスクエア目黒店	(東京都目黒区)
	エクセルコ ダイヤモンド	天王寺店	(大阪府大阪市)
	銀座ダイヤモンドシライシ	柏店	(千葉県柏市)
店舗移転	エクセルコ ダイヤモンド	神戸店	(兵庫県神戸市)
重要な設備の除却			
店舗閉鎖	ホワイトベル	銀座本店	(東京都中央区)
	ホワイトベル	名古屋店	(愛知県名古屋市)
	ホワイトベル	横浜店	(神奈川県横浜市)

(4) 資金調達状況

当社は、平成23年6月30日に第2回無担保社債2億円を発行いたしました。

(5) 財産および損益の状況の推移

(単位：千円)

項目	期別	第15期	第16期	第17期	第18期
		(平成21年3月期)	(平成22年3月期)	(平成23年3月期)	(当連結会計年度) (平成24年3月期)
売上高		12,045,912	11,451,232	11,118,618	10,021,729
経常利益又は 経常損失(△)		700,862	224,254	487,149	△335,337
当期純利益又は 当期純損失(△)		377,097	△66,263	183,927	△375,857
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		2.05円	△0.36円	1.00円	△2.05円
総資産		9,451,179	9,323,129	9,397,121	8,723,334
純資産		5,856,619	5,607,222	5,792,348	5,233,349
1株当たり純資産		31.87円	30.51円	31.52円	28.48円

- (注) 1. 当連結会計年度の売上高は100億21百万円となり、前年同期と比較して10億96百万円(前年同期比9.9%減)の減少となり、当期純損失は3億75百万円となり、前年同期と比較して5億59百万円(前年同期は当期純利益1億83百万円)の減少となりました。
2. 1株当たり当期純利益の計算は、期中平均株式数をもとに計算しています。
期中平均株式数 24年3月期 183,764,868株 23年3月期 183,764,905株
22年3月期183,764,953株 21年3月期 183,765,010株

(6) 重要な親会社および子会社の状況

重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
Israel Shiraiishi, Ltd.	1,000イスラエル シェケル	98.00%	ダイヤモンドの仕入
株式会社ウェディングサポート	15百万円	100.00%	ブライダルサービス に関する業務

(注) 株式会社ウェディングサポートは平成23年9月7日に当社の100%出資により設立しております。

(7) 主要な事業内容

総合ブライダル事業(婚約および結婚指輪の販売、結婚式場の紹介、引出物の販売、ダイヤモンド・ティアラのレンタルサービス)およびファッションジュエリーの販売

(8) 主要な事業所

① 当社

本 社 東京都中央区

銀座ダイヤモンドシライシ

銀座本店 東京都中央区

大阪店 大阪府大阪市

名古屋店 愛知県名古屋市

福岡店 福岡県福岡市

横浜モアーズ店 神奈川県横浜市

立川店 東京都立川市

広島店 広島県広島市

静岡店 静岡県静岡市

札幌時計台店 北海道札幌市

岡山店 岡山県岡山市

リーガロイヤルホテル小倉店 福岡県北九州市

宇都宮店 栃木県宇都宮市

千葉店 千葉県千葉市

大宮店 埼玉県さいたま市

富山店 富山県富山市

浜松店 静岡県浜松市

池袋店 東京都豊島区

高松店 香川県高松市

高崎店 群馬県高崎市

熊本店 熊本県熊本市

仙台店 宮城県仙台市

金沢店 石川県金沢市

名古屋ユニモール店 愛知県名古屋市

松山店 愛媛県松山市

新宿店 東京都新宿区

神戸店 兵庫県神戸市

京都店 京都府京都市

新潟店 新潟県新潟市

ホテルテラスザガーデン水戸店 茨城県水戸市

長野店 長野県長野市

横浜元町店 神奈川県横浜市

松本店 長野県松本市

梅田店 大阪府大阪市

(注) ホワイトベル銀座本店、横浜店、

名古屋店は平成24年3月31日をもって閉

店いたしました。

姫路店 兵庫県姫路市

神戸三宮店 兵庫県神戸市

アルコスクエア目黒店 東京都目黒区

柏店 千葉県柏市

エクセルコダイヤモンド

東京本店 東京都中央区

神戸店 兵庫県神戸市

名古屋店 愛知県名古屋市

横浜店 神奈川県横浜市

大阪店 大阪府大阪市

小倉店 福岡県北九州市

札幌店 北海道札幌市

福岡店 福岡県福岡市

宇都宮店 栃木県宇都宮市

高崎店 群馬県高崎市

心齋橋店 大阪府大阪市

京都店 京都府京都市

金沢店 石川県金沢市

浜松店 静岡県浜松市

大宮店 埼玉県さいたま市

仙台店 宮城県仙台市

福井店 福井県福井市

静岡店 静岡県静岡市

名駅店 愛知県名古屋市

広島店 広島県広島市

青山店 東京都港区

天王寺店 大阪府大阪市

② Israel Shiraishi, Ltd.

本 社 イスラエル、テルアビブ

③ 株式会社ウェディングサポート

本 社 東京都中央区

(9) 主要な借入先

(単位：千円)

借入先	借入額
株式会社 みずほ銀行	1,000,000
株式会社 りそな銀行	377,760
株式会社 三井住友銀行	208,326
株式会社 新銀行東京	76,000
株式会社 徳島銀行	40,252
株式会社 第三銀行	5,584

(10) 従業員の状況

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
524名	13名増	29.5才	4年1ヶ月

(注) 上記従業員には契約社員は含まれていません。(尚契約社員数は、51名です。)

(11) 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当事項はありません。

(12) 事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

(13) 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

(14) 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

当社は、平成23年9月7日付けで株式会社ウェディングサポートを300万円で子会社として設立いたしました。

2. 会社の株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 700,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 183,765,644株(自己株式792株を含む。)
 (3) 株主数 29,264名
 (4) 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社 ホワイトストーン	36,627	19.93
白石幸生	36,460	19.84
白石幸栄	20,200	10.99
白石勝代	13,130	7.14
株式会社 天心	1,830	0.99
小西勉	1,248	0.67
株式会社 ベルコ	1,212	0.65
竹山 中三	900	0.48
榊原 節子	850	0.46
鈴木 木真	641	0.34

(注) 持株比率は自己株式792株を控除して計算しています。

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役および監査役の氏名等

地位	氏名	担当および重要な兼職の状況
*取締役 社長	白石 幸栄	Israel Shiraishi, Ltd. 代表取締役
専務取締役	宮崎 一成	
常務取締役	田巻 雄太郎	株式会社ウェディングサポート 代表取締役
取締役	ジャン・ポール・トルコウスキー	エクセルコンN.V.および F.T.K. BVBA マネージング・ディレクター
取締役	丸 仲 智之	営業統括
常勤監査役	吉川 秀雄	
監査役	朝井 匡人	
監査役	山根 裕一郎	

- (注) 1. *印は代表権を有する取締役です。
 2. 取締役のうちジャン・ポール・トルコウスキー氏は社外取締役です。
 3. 監査役のうち朝井匡人、山根裕一郎の両氏は、社外監査役です。
 4. 監査役山根裕一郎氏につきましては、株式会社大阪証券取引所に対し、独立役員として届け出ています。
 5. 当期中の取締役の異動
 平成23年6月29日開催の第17期定時株主総会において新たに丸仲智之氏が取締役に就任いたしました。
 平成23年6月29日開催の第17期定時株主総会終結のときをもって、取締役藤内昌子、山下昌範の両氏は任期満了により取締役を退任いたしました。

(2) 取締役および監査役の報酬等

イ. 当事業年度に係る報酬等

取締役 6名 37,886千円 (うち社外1名 166千円)
 監査役 3名 8,434千円 (うち社外2名 2,666千円)

- (注) 1. 取締役の報酬限度額は、平成6年9月12日開催の臨時株主総会において年額3億円以内と決議いただいています。
 2. 監査役の報酬限度額は、平成6年9月12日開催の臨時株主総会において年額1億円以内と決議いただいています。
 3. 取締役のうち1名は無報酬の取締役です。

ロ. 当事業年度に支払った役員退職慰労金
 該当事項はありません。

(3) 社外役員に関する事項

① 取締役

区分	氏名	重要な兼職先と当社との関係	当社での主な活動状況	責任限定契約の内容
取締役	ジャン・ポール・トルコウスキー	エクセルコN.V.およびF.T.K. BVBAは当社の主要なダイヤモンド仕入先であります。	ダイヤモンドの専門家の立場より経営についてアドバイスをしております。当期の取締役会への参加は1回ですが、意見交換は月に1回程度行っています。	現時点では責任限定契約は締結していません。

② 監査役

区分	氏名	重要な兼職先と当社との関係	当社での主な活動状況	責任限定契約の内容
監査役	朝井 匡人	該当事項はありません。	当期開催の監査役会にすべて参加して監査結果について発言しています。また、当期の取締役会にも(22回)参加して店舗出店に関して意見を述べています。	現時点では責任限定契約は締結していません。
監査役	山根 裕一郎	該当事項はありません。	当期開催の監査役会にすべて参加して監査結果について発言しています。また、当期の取締役会にも(22回)参加して店舗出店に関して意見を述べています。	現時点では責任限定契約は締結していません。

4. 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称

UHY東京監査法人

(2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

	支払額
当事業年度に係る報酬等の額	12,000千円
当社および子会社が会計監査人に支払うべき金銭 その他の財産上の利益の合計額	12,000千円

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約においては、会社法上の監査に対する報酬等の額と金融商品取引法上の監査に対する報酬等の額を区分しておらず、実質的にも区分できないことから、上記の金額はこれらの合計額を記載しています。

(3) 非監査業務の内容

該当する事項はありません。

(4) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

解任または不再任の決定の方針

当社では、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合には、監査役全員の同意に基づき監査役会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

なお、監査役会は会計監査人の継続監査年数等を勘案しまして、再任若しくは不再任の決定を行います。

5. 会社の体制および方針

(1) 取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
その他業務の適正を確保するための体制

I. 基本方針

当社は、持続的成長により株主利益および企業価値の最大化に努めることを目標とし、質の高い商品とサービスの提供を通じて社会に貢献していきます。

そのために、業務の適正性を確保する体制を整備し、それを適切に運用することにより、法令および定款などを遵守するとともに、上場企業としての社会的責任、使命を果たします。

II. 内部統制の体制の整備に関する方針

1. 取締役および従業員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

- (1) 当社は、法令、規則およびルールの遵守を定めた「行動規範」や各種社内規程を、社内のグループウェアを通じて、全役職員に継続的に周知徹底をはかると同時に、啓蒙教育や研修を行います。
- (2) 監査役は、取締役会および経営会議に出席し、会社の決議事項のプロセス・内容などが法令および定款などにもとづき、適合しているかを確認します。
- (3) 内部監査室は、従業員が、法令、定款および社内規程などにもとづき、適正に職務を遂行しているかどうかを「内部監査規程」にもとづき監査し、その監査結果を代表取締役社長に報告するとともに監査役にも提出します。
- (4) 当社は、従業員が、法令、定款および社内規程などに疑義のある行為に気づいた場合に、代表取締役社長もしくは常勤監査役に直接情報提供を行うことのできる「ホイッスルライン」を設置し、内部統制システムの強化をはかっています。

2. 取締役の職務の執行にかかる情報の保存および管理に関する体制

- (1) 取締役の職務の執行にかかる情報の保存および管理については、「取締役会規程」およびその他の関連規程にもとづき、文書または電磁的媒体に記録し、適切に行います。
- (2) 取締役および監査役は、これらの情報を常時閲覧できます。

3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- (1) 当社は、リスクマネジメントの対象となるリスクおよび会社内における対策、組織、責任、権限などを規定した「経営危機管理規程」にもとづき、未然防止、リスクの解消、事故などの再発防止に努めます。

(2) 当社の各部門は、あらゆるリスクに対応するため、所管業務に付随するリスクの管理に必要な体制（リスクの発見、情報伝達、対応など）を構築し、その整備・運用を行うとともに、組織横断的なリスク状況の監視および対応体制を構築します。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行なわれることを確保するための体制

- (1) 取締役は、責任と権限に関する基本事項を定めた「職務権限規程」および「職務権限明細表」にもとづき、適正かつ効率的に職務を執行します。
- (2) 業務執行の監視・監督範囲を明確化するため、代表取締役社長以外の常勤取締役を原則として統括取締役とし、担当部署および執行役員の監視・監督ができるようにしています。
- (3) 取締役会は、毎期、全役職員の共通目標となる「事業計画」を決定し、その進捗状況を適宜チェックします。
- (4) 担当取締役は、目標達成のために権限委譲を含めた効率的な業務運営の方法を定め、定期的な進捗状況を取締役会に報告します。
- (5) 当社は、重要事項の意思決定において、慎重な審議を重ねた上で決議が行えるよう取締役会、経営会議、経営諮問委員会を設置しています。取締役会は、原則として毎月1回以上、経営会議は、原則として毎月2回以上、経営諮問委員会は、原則として、経営会議、取締役会開催の前日（前日が休日の場合は、その前日）に開催し、意思決定のプロセスを遵守し、職務執行状況における牽制機能を強化していきます。

5. 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

- (1) 当社は、「関係会社管理規程」にもとづき、グループ会社に対する適切な経営管理を行います。
- (2) 当社は、グループ会社全体で、コンプライアンス体制を構築するために、当社の「行動規範」の遵守をグループ会社にも徹底します。そのために、グループ会社においても、継続的に周知徹底をはかり、必要に応じて啓蒙教育や研修を行います。
- (3) 当社の監査担当部署は、「関係会社管理規程」にもとづき、グループ会社の監査を実施し、監査報告書を代表取締役社長へ提出します。なお、問題があるときは、適宜改善を行います。
- (4) グループ会社においても、複合的なリスクに対応するため、業務に付随するリスク管理に必要な体制（リスクの発見、情報伝達、対応など）を構築し、その整備・運用を行います。
- (5) グループ会社の取締役および従業員は、グループ各社における重大な法令違反、その他コンプライアンスにかかわる重要な事実を発見したときは、

当該会社の代表取締役社長または監査役に報告します。報告を受けた代表取締役社長または監査役は、適切な対応を行える体制を構築します。

6. 監査役がその職務を補助すべき補助者を置くことを求めた場合における当該補助者に関する事項

- (1) 監査役会から職務補助のための補助者を求められたときは、独立した補助者を任命します。その際、取締役などからの独立性を確保するため、補助者の人事評価は監査役会が行い、補助者の人事異動および懲戒に関しては、監査役会の事前の同意を得るようにしています。
- (2) 監査役補助者は、業務の執行に関わる役職を兼務しません。

7. 取締役および従業員が、監査役会に報告をするための体制

- (1) 取締役および従業員は、会社に重大な損失を与える事項が発生し、または発生する恐れがあるとき、役職員による違法または不正行為を発見したとき、その他監査役会へ報告すべきものと定めた事項が生じたときは、すみやかに監査役会に報告します。
- (2) 監査役は、必要がある場合には、稟議書その他社内の重要書類、資料などを閲覧できるようにしています。

8. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- (1) 代表取締役社長は、役職員の監査役監査に対する理解およびその環境の整備に努めます。
- (2) 代表取締役社長は、「監査役会規程」にもとづき、当社の経営上の対処すべき課題、その他監査上の重要課題などについて、監査役と定期的な意見交換を行います。
- (3) 監査役は、必要と認めたときは、特定の事項について、内部監査室およびその他の部署に、監査役監査に対し協力を求められるようにしています。
- (4) 監査役は、定期的に会計監査人と財務および会計に関する事項などの協議・意見交換をするなど、緊密な連携をはかり、その監査業務が実効的に行えるようにしています。

(2) 株式会社の支配に関する基本方針

該当事項はありません。

	5,562,226		2,690,325
	1,051,756		251,571
	383,775		1,400,000
	3,900,782		170,000
	66,185		146,086
	106,082		514,904
	34,213		27,796
	19,549		164,725
	120		15,241
	3,161,107		799,658
	1,659,728		345,000
	679,445		161,836
	8		272,525
	980,274		20,296
	52,387		3,489,984
	47,454		
	4,932		5,229,331
	1,448,992		1,777,743
	19,523		1,536,643
	15,398		1,915,018
	299,120		73
	1,114,336		4,018
	14,176		4,018
	13,562		5,233,349
	8,723,334		8,723,334

(23 31)
24

()

		10,021,729
		3,411,665
		6,610,064
		6,936,305
		326,241
		19,092
	297	
	10,761	
	3,941	
	4,091	
	18,841	28,188
	7,025	
	2,217	
	105	
	8,823	335,337
	108,633	117,457
		452,795
		16,271
		93,209
		375,857
		375,857

(23 31)
24

()

	1, 777, 743
	1, 777, 743
	1, 536, 643
	1, 536, 643
	2, 474, 641
	183, 764
	375, 857
	559, 622
	1, 915, 018
	72
	0
	0
	73
	5, 788, 954
	183, 764
	375, 857
	0
	559, 623
	5, 229, 331

()

	3 394
)	624
	624
	4 018
	3 394
)	624
	624
	4 018
	5, 792, 348
	183, 764
	375, 857
	0
)	624
	558, 999
	5, 233, 349

24 22

24 31 444

23

	5,565,181		2,684,240
	1,026,785		247,938
	383,566		1,400,000
	3,904,929		170,000
	66,185		146,086
	106,082		298,259
	32,645		215,492
	45,127		26,496
	141		164,725
	3,179,932		7,535
	1,659,263		7,705
	679,445		799,658
	8		345,000
	979,810		161,836
	41,647		272,525
	36,714		20,296
	4,932		3,483,898
	1,479,021		
	30,029		5,261,214
	15,398		1,777,743
	19,523		1,536,643
	299,120		1,536,643
	1,114,336		1,946,902
	14,176		23,531
	13,562		300,000
	8,745,113		1,623,371
			73
			5,261,214
	8,745,113		8,745,113

(23 31)
24)

()

		10,020,827
		3,412,775
		6,608,052
		6,923,507
		315,455
		20,596
	573	
	11,990	
	3,941	
	4,091	
		27,699
	18,352	
	7,025	
	2,217	
	105	
		322,557
		117,457
	8,823	
	108,633	
		440,015
		16,181
		94,018
		362,178

(23 31)
24

()

	1, 777, 743
	1, 777, 743
	1, 536, 643
	1, 536, 643
	1, 536, 643
	1, 536, 643
	23, 531
	23, 531
	300, 000
	300, 000
	2, 169, 315
	183, 764
	362, 178
	545, 943
	1, 623, 371
	2, 492, 846
	183, 764
	362, 178
	545, 943
	1, 946, 902

()

	72
	0
	0
	73
	5, 807, 159
	183, 764
	362, 178
	0
	545, 944
	5, 261, 214
	5, 807, 159
	183, 764
	362, 178
	0
)	545, 944
	5, 261, 214

24 22

23 436
24 31 18

23

24

31

18

1.

100

((17 10 28 131

2

(1)

(2)

(3)

24

24

1.

19 11 27

100

10 100

50

2

(_)

<p>()</p> <p style="text-align: right;">—</p> <p>()</p> <p>()</p>	<p>()</p> <p style="text-align: right;"><u>100</u></p> <p>(_____)</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>(_____)</p> <p style="text-align: right;"><u>24</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>
<p>()</p> <p><u>50</u></p>	<p>()</p> <p><u>51</u></p>

1.

2

()			
(1967 23)	1988 1991 1994 N.V. 2001 2004 N.V. F. T. K. BMBA 2010		()

() 1.

N.V.

F. T. K. BMBA

2

3

2001

2010

390

(

1.

48

(1)

(2)

(3)

(4)

24

29

2

50

3

75

19

19

1. (20

(1)
2

3

18

1. (

()	()
(<u>$\frac{10}{10}$</u>	<u>$\frac{10}{11}$</u>

2

3

1.

1)

(URL

PHS

2)

3)

4)

5)

2

1) <http://www.it-soukai.com> <https://dai-ko.nizuho-tb.co.jp/>

URL

2)

3)

3

Windows
(PDA)
Microsoft Internet Explorer 5.5

1024× 768
Microsoft Windows Microsoft Corporation

4

SSL128bit

5

1)

0120-768-524()
(00 21 00)

2) 1)

0120-288-324()
(00 17 00)



JR

A a A
A

C

A a A

(B)